



令和7年度

要 覧

「愛あふれ 明日を拓く 香南っ子」



香南市教育研究所

目 次

1 香南市教育研究所 基本方針等	1
2 香南市教育研究所の構成	3
3 香南市教育研究所の機構（香南市教育研究組織）	4
4 香南市教育研究所経営グランドデザイン	5
5 令和7年度 事業計画	6
6 香南市教育研究所設置条例	8
7 香南市教育研究所設置条例施行規則	9
8 香南市教育研究所沿革史	11

I 香南市教育研究所 基本方針等

(1) 基本方針

香南市教育研究所は、「こどもまんなか社会の実現」を目指し、香南市の教育の改善と向上を図ることを目的として、香南市教育振興基本計画に基づいた重点施策に係る調査研究と幼児・児童生徒への支援、教職員研修の体系化等の事業を展開する。

(2) 研究テーマ

令和の日本型学校教育で求められる教師の資質能力の育成支援
～ 子どもを中心に据えた保幼小中連携を基盤として ～

(3) 運営方針

- ① 保幼小中連携に関する調査研究や実践研究を行い、香南市の教育課題の解決に資する。
- ② 小中学校のニーズに応じた調査研究や実践研究を行い、香南市内小中学校の組織経営に資する。
- ③ 不登校問題を中心に据えて、生徒指導上の諸課題や特別支援教育等の調査研究や実践研究を行い、香南市の子どもたちの健やかな成長に資する。
- ④ 学力調査を基に香南市の子どもたちの学力実態を把握し、授業改善に関する調査研究や実践研究を通して学力向上に資する。
- ⑤ 教育に関わる研修機関や調査機関等の関係機関との連携を図りながら、香南市内小中教職員の研修の体系化を図る。

(4) 重点取組

①中央教育審議会答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～）で示された「令和の日本型学校教育」を担うために、これからの教師に求められる資質能力の育成を支援する取組を進める。

○ 教職に必要な素養

- ・ 香南市内小中学校の初任者教員が1年間の見通しを持って日々の指導や初任者研修に臨むことができる環境を整えることを目的として初任者集合研修を実施するとともに、香南市内保幼小中教職員の資質向上に関する研修への取組を支援する。
- ・ 講師招聘研修や担当者会等の内容について、所報等を活用して情報提供を行い、「令和の日本型学校教育」で示された子どもの学びや育ちを支える教師としてのあり方や学習指導、生徒指導等について周知する。

○ 学習指導

- ・ 高知県教育委員会が行う「令和の授業を創る」推進プロジェクト等の研究推進を支援するとともに、「個別最適な学び」や「協働的な学び」に関わる調査研究や実践研究を進め、各校の授業改善や子どもたちの学力向上への取組を支援する。
- ・ 香南市小中学校授業 DX 推進事業に関する調査研究を通して、子どもたちが、主体的に学習活動に取り組むことができる授業づくりのあり方について研究する。
- ・ 香南市小中学校授業づくり実践研究講座を学校と連携しながら実施し、「令和の日本型学校教育」を支える教師の学習指導のあり方について研修する機会を提供する。
- ・ 外国語教育担当者会等への参加や実施支援を通して、ALT や各校の外国語担当等と連携しながら、保幼小の外国語活動及び小中の外国語の授業改善や関連した取組を支援する。
- ・ 社会科副読本「香南のくらし」のデジタル資料集及び単元デザインの作成等に関する諸事務を行い、小学校中学年の授業実践に対する支援を行う。

○ 生徒指導

- ・ 小中学校はっとスタート実践研究事業（香南市内全小中学校）をはじめ、不登校等の未然防止に関連した取組を支援する。
- ・ 保幼小中・家庭・地域連携担当者会や保幼小連携・接続担当者会への参加や実施支援を通して、各校の魅力ある学校づくり等の取組を支援する。
- ・ ポジティブ行動支援に関する調査研究を通して、主体的に活動できる子どもたちを育てる学級経営や生徒指導のあり方について研究する。
- ・ 道徳教育担当者会を核として、各校の道徳教育の推進や授業実践に対する支援を行う。
- ・ 人権・生徒指導担当者会等への参加や実施支援を通して、各校における人権教育や生徒指導の充実を支援する。

○ 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応

- ・ 香南市内の保育所、幼稚園、こども園、小中学校における発達支援サポートシステムの構築を目指して、高知健康科学大学との連携による共同研究を推進する。
- ・ 配慮や支援を必要とする子どもたちの架け橋期における引継ぎや対応について調査研究を行い、子どもが安心できる連携や接続のあり方について検証する。
- ・ 特別支援教育学校コーディネーター会や特別支援教育支援員等研修会等への参加や実施支援を通して、各校における特別支援教育の充実を支援する。

○ ICT や情報・教育データの利活用

- ・ 教育 DX 推進の取組の一貫として、教育研究所からの効果的な資料提供のあり方について研究し、教職員が学校の枠を超えてデジタル学習資料を共有できるシステムの構築を推進する。
- ・ 学力調査や各種アンケート調査の分析や検証を行い、分析結果の情報共有を行う。
- ・ 教育 DX やコグトレ推進等の担当者会への参加や取組支援を通して、各校における情報教育や ICT 活用の充実を支援する。

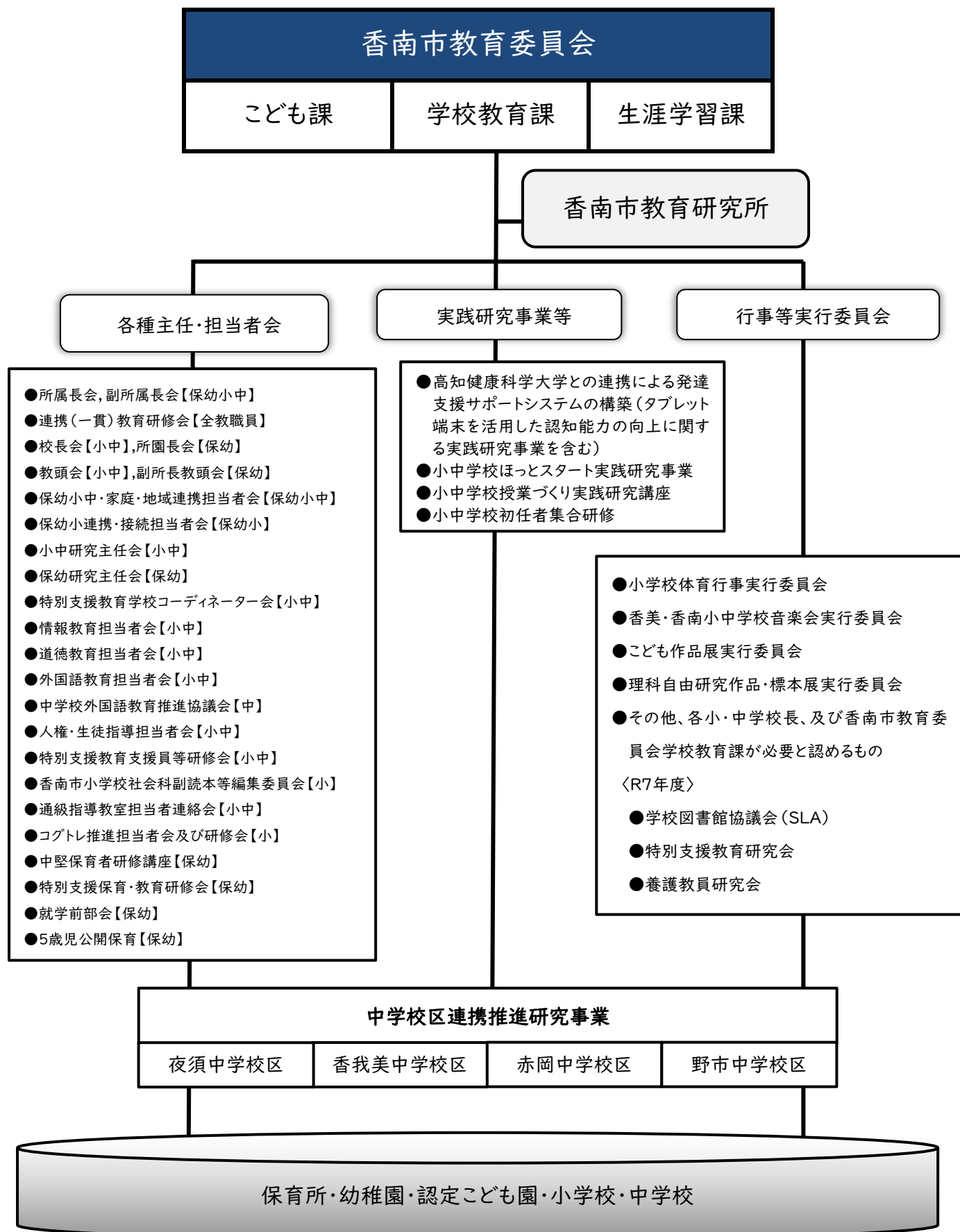
②香南市教育振興基本計画に基づき、保幼小中連携を中心とした子育てや教育の取組に関する調査研究・実践研究を進め、不登校の未然防止や学力の向上等、香南市の教育課題の解決をめざすとともに、保幼小中連携に関する支援体制の充実を図る。

- 「中学校区連携推進事業」に関わる調査研究や実践研究を通して事業支援を行い、各中学校区の連携（一貫）教育の充実を図る。
- 保幼小中・家庭・地域連携担当者会や保幼小連携・接続担当者会をはじめ、各担当者会の実施内容に中学校区の連携や接続に視点を置いた内容をできるだけ設定する。
- 教育 DX の推進における授業 DX に関する調査研究を通して、小中学校の系統性のある授業づくり及び効果的な ICT の活用について研究員の在籍中学校区と連携しながら研究を深める。
- ポジティブ行動支援に関する調査研究を通して、発達段階に応じた系統性のある指導や支援の方法について、研究員の在籍中学校区と連携しながら研究を深める。

2 香南市教育研究所の構成

職 名	氏 名	業 務 等
所長	こまつ やすき 小松 泰樹	総 括
副所長	もり けんたろう 森 健太郎	総 務（学校教育課教育企画監 兼務）
研究員【赤岡小学校】	なかにし みわ 中西 美和	ポジティブ行動支援に関する調査研究
研究員【野市中学校】	ほそかわ ひろふみ 細川 寛史	授業 DX に関する調査研究
教育推進アドバイザー【外国語教育】	すず き かよこ 鈴木 加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
香南市小学校社会科副読本等編集コーディネーター	いの うえ あきら 井 上 朗	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート

3 香南市教育研究所の機構（香南市教育研究組織）



4 香南市教育研究所経営グランドデザイン

香南市教育振興基本計画
子どもに夢 青年に希望 高齢者に生きがい
基本理念
1. 就学前・学校教育の推進 (1) 保幼小中連携の推進 (2) 家庭・地域と連携した教育の推進 (3) 生きる力と確かな学力の育成 (4) 教育活動を支える体制の充実 (5) 保幼小中の教育環境の充実 2. 生涯学習の推進 (1) 生涯にわたる「まなび」の展開 (2) 「まなび」の拠点の充実 (3) 文化・芸術活動の推進 (4) スポーツの振興 (5) 地域への「まなび」の還元

香南市長の方針
《施策重点項目》
I) 新型コロナから市民の命と経済を守り抜く II) こどもまんなか社会を実現する III) 持続可能な共生社会を実現する IV) 多様性を活かす市政を実現する V) 市民の信頼を取り戻す市政を実現する

国や県の施策
文部科学省・厚生労働省 ● 学習指導要領、保育指針、教育要領 ◆ 小中学校「主体的・対話的で深い学び」 ◆ 保育所・幼稚園・こども園「5領域」「10の姿」 ● 令和の日本型学校教育 ◆ 個別最適の学び、協働的な学び ◆ 教師に求められる資質能力 ① 教職に必要な素養 ② 学習指導 ③ 生徒指導 ④ 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 ⑤ ICT や情報・教育データの利活用 高知県教育委員会関係指定事業 ● 「令和の授業を創る」推進プロジェクト令和の授業 DX ● 授業を見る眼を鍛える講座 ● 通常の学級における合理的配慮実践充実事業 ● 対話型 AI を活用した学習支援実証研究事業 ● 中学校組織力向上のための実践研究事業 ● 中学校学力向上検証サイクル確立事業 ● メンター制を活用した人材育成実践研究事業

明日を拓く香南っ子



香南市教育研究所の役割

授業づくり支援・研究

- ◆ 授業実践研究講座の調整・支援
- ◆ 外国語活動・外国語への授業支援及び担当者会への参加・支援
- ◆ 小学校社会科副読本やデジタル資料等の作成
- ◆ 道徳教育担当者会への参加・支援
- ◆ 研究主任会への参加・支援
- ◆ 教育 DX 担当者会への参加・支援
- ◆ 研究員授業 DX に関する研究
- ◆ 各学力調査の結果分析

若年教員の育成支援

- ◆ 初任者 OJT マニュアル作成
- ◆ 初任者集合研修の実施
- ◆ 研修コーディネーターや若年サポーターとの連携・支援

認知能力育成支援

- ◆ タブレット端末を活用した認知能力の向上等に関する実践研究事業
- ◆ **新** コグトレ推進担当者会の実施
- ◆ 研究成果の報告と共有

コミュニケーション能力



規範意識



居場所・絆づくり支援・研究

- ◆ 小学校ほっとスタート実践研究事業
- ◆ 保幼小中・家庭・地域連携担当者会及び保幼小接続部会への参加・支援
- ◆ 人権・生徒指導担当者会への参加・支援
- ◆ 特支コーディネーター会への参加・支援
- ◆ 特別支援教育支援員等研修会への参加・支援
- ◆ 通級指導教室担当者連絡会

情報の共有・発信

- ◆ 所報「香南っ子」の発行
- ◆ 所属長会等での共有や発信
- ◆ 共有ドライブや HP の活用
- ◆ 所内会での情報共有

非認知能力育成支援

- ◆ 研究員ポジティブ行動支援に関する研究
- ◆ 研究員在籍校区での共同研究及び情報共有
- ◆ 研究成果の報告と共有

高知健康科学大学との連携
中学校区を中心とした連携

土台づくり

スキルアップ

スキルアップ



《香南市教育研究所基本方針》

香南市教育研究所は、「こどもまんなか社会の実現」を目指し、香南市の教育の改善と向上を図ることを目的として、香南市教育振興基本計画に基づいた重点施策に係る調査研究と幼児・児童生徒への支援、教職員研修の体系化等の事業を展開する。

《香南市教育研究所運営方針》

- ① 保幼小中連携に調査研究や実践研究を行い、香南市の教育課題の解決に資する。
- ② 保育所、幼稚園、認定こども園及び小中学校のニーズに応じた調査研究や実践研究を行い、香南市内保幼小中の組織経営に資する。
- ③ 不登校問題を中心に据えて、生徒指導上の諸課題や特別支援教育等の調査研究や実践研究を行い、香南市の子供たちの健やかな成長に資する。
- ④ 学力調査を基に香南市の子どもたちの学力実態を把握し、授業改善に関する調査研究や実践研究を通して学力向上に資する。
- ⑤ 保育・教育に関わる研修機関や調査機関等の関係機関との連携を図りながら、香南市内保幼小中教職員の研修の体系化を図る。

5 令和7年度 事業計画

【事業計画の柱となる視点】

◆令和の日本型学校教育で教師に求められる資質能力の育成

- ①教職に必要な素養 ②学習指導 ③生徒指導 ④特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応
- ⑤ICT や情報・教育データの利活用

◆保幼小中(中学校区)連携の推進

◎研究員による調査研究及び実践研究

【細川研究員】(1年目)

児童生徒が自律して主体的に学ぶ理科の授業づくり
～系統性のある個別最適な学びと協働的な学び～

【中西研究員】(2年目)

ポジティブ行動支援における問題行動へのアプローチに関する研究
～子どもと先生の笑顔が咲きほこる学校にしていけるために～

(1) 授業づくり支援・研究

■教育 DX 推進事業への支援と授業 DX に関する研究推進

- ・教育 DX 推進事業拠点校(野市小・野市中)及び推進校への取組支援
- ・**研究員** 授業 DX に関する研究及び県外視察研修と香南市内校への情報提供
- ・教育 DX に関する内容や ICT 活用に関する取組支援
- ・小中学校で連携した系統性のある学習指導に関する支援

■香南市小中学校授業づくり実践研究講座(香南市版授業づくり講座)の実施

- ・学習者主体の授業づくり(学びの変容)【授業 DX】
- ・香南市全小中学校での公開授業(香南市内教職員対象)
- ・保育所、幼稚園、こども園も参加対象(教育課程の相互理解)

■外国語活動・外国語への授業支援

- ・香南市外国語授業スタンダード「使いながら学び、学びながら使う授業」の定着
- ・村端高知大学教授による訪問指導(小中学校全校年間1回)
- ・鈴木教育推進アドバイザーによる定期的訪問指導
- ・外国語教育担当者会(年間2回、赤岡中学校区)、中学校外国語教育推進協議会(年間2回)の実施

■社会科副読本「香南のくらし」やデジタル資料サイトの改訂・更新

- ・ふるさと教育(香南市や高知県への誇りと愛情、一員としての意識を育てる起点とする)の充実
- ・社会科副読本等編集委員会、世話役会、ワーキングチーム会の実施
- ・デジタル資料サイトの充実と活用促進
- ・単元デザイン作成による授業実践への支援

○道德教育担当者会(年間2回、拠点校:赤岡中学校)の実施

○教育 DX 担当者会(年間3回)の実施

○小中研究主任会(年間3回)の実施

○保幼研究主任会(年間3回)への参加

○学力調査の結果分析と報告

(2) 居場所・絆づくり支援・研究

■高知健康科学大学との連携による発達支援サポートシステムの構築に向けた協議と調整

■香南市小中学校ほっとスタート実践研究事業(令和5～7年度)の検証と報告

- ・各小中学校の実施状況の確認
- ・検証資料の作成（長期欠席者数の推移、学校生活アンケートの集約、授業時数の確認、他県・他市の状況）
- ・令和8年度以降の対応に関する検討資料の作成

■通級指導教室担当者連絡会の実施

- ・配慮が必要な児童生徒に対する系統的な自立支援と担当者のスキルアップ
- ・環境設定や自立活動の情報共有
- ・通級指導教室の役割についての意識啓発

- 保幼小中・家庭・地域連携担当者会（年間3回）の実施
- 保幼小連携・接続担当者会（年間3回）の実施
- 特別支援教育学校コーディネーター会（年間2回）の実施
- 特別支援教育支援員等研修会（年間2回）の実施
- 生徒指導担当者会（年間1回）の実施 ○教育支援センター「森田村塾」との連携

(3) 若年教員の育成・支援

■香南市小中学校初任者教員集合研修の実施

- ・初任者教員の心の居場所づくりを第一に考える
- ・何でも Q&A（日ごろの悩みや疑問に対する助言等）や井戸端会議タイム（初任者だけの雑談時間）の実施
- ・香南市初任者教員 OJT マニュアルの作成と配付
- ・香南市若年教員サイト「Step by step」の作成と周知

- 研修コーディネーターや若年サポーターとの連携や情報共有

(4) 情報の共有・発信

■所報「香南っ子」の作成と配付

- ・担当者会や授業づくり実践講座等の取組を発信して実施内容の周知を図る
- ・年間15回をめやすとして作成
- ・電子データで小中学校全教職員に配付、保育所・幼稚園・こども園・事務局は回覧

- 香南市教育研究所ホームページの活用（担当者会等の周知）
- Google 端末「教育研究所リンク集」の活用

(5) 認知能力育成支援

■コグトレプログラムの研究推進

- ・小学校1,2年生及び特別支援学級並びに通級指導教室在籍児童のコグトレオンライン等による取組推進
- ・モデル校（赤岡小、佐古小）における小学校中高学年での認知トレーニングの有効性についての検証と報告
- ・コグトレ推進担当者会（年間3回）の実施
- ・コグトレ推進研修会（年間4回）の実施

- タブレット端末を活用した認知能力の向上に関する実践研究事業第Ⅱ期（令和7～9年度）

(6) 非認知能力育成支援

■ポジティブ行動支援に関する研究

- ・できているところに注目し（ポジティブになる）、望ましい行動を増やすアプローチの実践研究
- ・研究員 ポジティブ行動支援に関する研究及び県外視察研修と香南市内校への情報提供
- ・中学校区で連携した継続性のある行動支援に関する実践研究

6 香南市教育研究所設置条例

平成 18 年 3 月 1 日

条例第 86 号

(設置)

第 1 条 香南市は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 30 条の規定に基づき、香南市教育の振興を図るため、教育研究所を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 教育研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 香南市教育研究所

位置 香南市野市町西野 2706 番地

(事業)

第 3 条 教育研究所は、関係機関の協力を得て、次に掲げる事業を行う。

- (1) 教育に係る専門的、技術的事項の調査研究に関すること。
- (2) 教育に係る教職員の研修の助成に関すること。
- (3) 教育に係る資料の収集及び提供に関すること。
- (4) 教育に係る相談及び啓発に関すること。
- (5) 就学前教育と学校教育の連携に関すること。
- (6) その他必要な事業

(職員)

第 4 条 教育研究所に、所長及び必要な職員を置くことができる。

(委任)

第 5 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 9 月 24 日条例第 25 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(令和 2 年 12 月 25 日条例第 47 号)

この条例は、令和 2 年 12 月 28 日から施行する。

附 則(令和 6 年 3 月 27 日条例第 13 号)

この条例は、公布の日から施行する。

7 香南市教育研究所設置条例施行規則

平成 18 年 3 月 1 日
教育委員会規則第 20 号

(目的)

第 1 条 この規則は、香南市教育研究所設置条例(平成 18 年香南市条例第 86 号。)の施行に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(運営方針)

第 2 条 香南市教育研究所(以下「研究所」という。)は、次の点に重点を置いて運営する。

- (1) 香南市立保育所、幼稚園、認定こども園、小学校及び中学校(以下、「教育機関等」という。)と密接に連携しながら調査研究及び事業等を行う。
- (2) 香南市の教育課題解決に必要な情報収集に努め、教育経営及び教育実践はもとより、生涯学習社会の形成にも役立つ調査研究活動を行う。
- (3) 香南市の学校教育及び就学前教育の質的向上に資する情報等の収集整理とその提供・活用体制の充実に努める。

(分掌事務)

第 3 条 研究所の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 研究員に関すること。
- (2) 教育計画の調査研究に関すること。
- (3) 教育の内容及び方法の研究に関すること。
- (4) 教職員の研修及びその助成に関すること。
- (5) 教育測定及び教育評価等の調査研究に関すること。
- (6) 研究所報及びその他の印刷物の編集及び発行に関すること。
- (7) 教育に係る情報収集及び提供に関すること。
- (8) 教育に係る相談業務及び啓発活動に関すること。
- (9) 教育機関等の連携に係る研究に関すること。
- (10) その他必要であると認められる研究及び事業に関すること。

(研究員)

第 4 条 研究所に、香南市共通の教育実践上の諸問題に関する調査研究を行うため、研究員を置くことができる。

(研究員の委嘱)

第 5 条 研究員は、香南市立学校に在職する教職員及び香南市に在職する職員の中から、選考により教育長が委嘱する。

2 研究員を委嘱する期間は、1 年とし、毎年度 4 月 1 日から当該年度の末日までとする。ただし、教育長が必要と認めたときは、1 年に限りその期間を延長することができる。

(研究員の選考)

第 6 条 研究員を志望する者は、所長が定める手続に従い、当該年度の教育研究計画書を、所属長及び所長を経由して、教育長に提出しなければならない。

2 教育機関等は、当該機関が推薦する者を研究員に委嘱するよう、所長の定める手続に従い、教育長に申し出ることができる。

3 研究員は、前 2 項の規定による志望者及び推薦者を対象として、所長の推薦により教育長が選考する。

(研究員の任務)

第 7 条 研究員は、所長の指示に従い、第 3 条に規定する調査研究を行うほか、次の各号に掲げる事項を、その任務とする。

(1) 研究の計画を当該年度の当初に報告し、その成果を年度末に文書によって発表すること。

(2) 所長が必要と認めて招集する会議に出席して、研究討議を行うこと。

(指導主事等)

第 8 条 研究所に、教育実践上の諸問題に関する特命事項について調査研究及び指導を行うため、指導主事等を置くことができる。

(運営委員会)

第 9 条 研究所の適切な運営を図るため、所長の諮問機関として、香南市教育研究所運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置くことができる。

2 運営委員会は、委員 10 人以内をもって組織する。

3 委員は、教育関係機関等からの推薦を受けて香南市教育委員会が委嘱し、その任期は 1 年とする。ただし、再任は妨げない。

4 運営委員会に、委員の互選によって委員長及び副委員長各 1 人を置く。

5 委員長は、必要に応じて運営委員会を招集し、会議の議長となる。

6 副委員長は、委員会を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

7 運営委員会の庶務は、研究所において処理し、経費等に関するものについては、学校教育課において処理する。

(その他)

第 10 条 この規則に定めるもののほか、研究所の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 9 月 1 日教委規則第 10 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(令和 6 年 4 月 3 日教委規則第 9 号)

この規則は、公布の日から施行する。

8 香南市教育研究所沿革史

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、香南市教育の振興を図るため、「香南市教育研究所」が平成18年3月1日に設置された。

【沿革】

年度	役職	氏名【所属】	職務、担当、テーマ等
平成18年度 (2006年度)	所 長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	研 究 員	楠目 真美【佐古小】	不登校・不登校傾向児童生徒へのかかわり方～カウンセリングの技法を活かして～の研究
	研 究 員	西内 美紀【夜須小】	基礎学力の定着と学力の向上を図るために～効率のよい校内研修の在り方を探る～の研究
	在校研究員	矢田 敦之【佐古小】	算数不安の構造及びこれに対する支援に関する研究～教材の工夫に焦点をあてて～
	在校研究員	高橋 歩【香我美小】	一人ひとりが生き生きと輝ける、居心地のいい学級をめざして～Q-Uを活用した学級活動～の研究
	在校研究員	北本 賢治【野市中】	野市中学校における情報機器の整備・運用の方法についての研究
平成19年度 (2007年度)	所 長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	研 究 員	西内 美紀【夜須小】	基礎学力の定着・学力の向上を図るために～子どもの自発的な学びのプロセスを考えた授業づくり～の研究
	研 究 員	川島 三和【野市中】	不登校生徒に対する対応の在り方～実態把握とチーム支援～の研究
	在校研究員	楠目 真美【佐古小】 野嶋 美穂【佐古小】	「Q-Uアンケート」を活用した学級経営の研究
	在校研究員	岡崎 和夫【佐古小】	表計算ソフト「エクセル」を使った算数プリントの作成とその活用
平成20年度 (2008年度)	所 長	前田雄二郎	総括・教育支援センター森田村塾長
	副 所 長	岡村 裕子	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	川島 三和【野市中】	不登校生徒に対する対応の在り方～小中連携として～
	研 究 員	北川 倫世【野市小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について～児童理解の視点と効果的な支援方法を探る～の研究
	スクールソーシャルワーカー	竹倉 美智	教育支援センター森田村塾
	特別支援教育支援員	徳橋 美希	特別支援教育支援員
	在校研究員	岡崎 和夫【佐古小】	表計算ソフト「エクセル」を使った算数問題プリント作成ファイルの作成と活用
平成21年度 (2009年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	参 事	時久 恵子	香南市教育支援センター森田村塾長

	副 所 長	岡村 裕子	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	北川 倫世【野市小】	特別支援教育学校コーディネーターを中心にした小学校における教育支援体制づくりの研究
	研 究 員	藤島 令子【赤岡中】	不登校に関する課題解決に向けての支援の在り方の研究 ～小中連携・連続性のある取組を通して～
	研 究 員	堅田 三佳【香我美中】	コミュニケーション能力を高めるための小学校外国語活動と中学校外国語科の連携の研究
	特別支援教育支援員	徳橋 美希	特別支援教育支援員
平成 22 年度 (2010 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	参 事	時久 恵子	香南市教育支援センター森田村塾長
	副 所 長	小松 泰樹	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導監	井上 桂子	保育所及び幼稚園支援
	研 究 員	藤島 令子【赤岡中】	不登校に関する課題解決に向けての支援の在り方～小中連携・連続性のある取組を通して～の研究
	研 究 員	堅田 三佳【香我美中】	外国語を通じてコミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の連携の研究
	研 究 員	井上 雄二【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	特別支援教育支援員	森本 美希・森 由美	特別支援教育支援員
平成 23 年度 (2011 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	参 事	井上 桂子	香南市教育支援センター森田村塾長
	副 所 長	小松 泰樹	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導監	田村 敬子	保育所及び幼稚園 指導・支援
	研 究 員	井上 雄二【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	研 究 員	三木 満喜【香我美中】	特別支援教育の視点を活かした個・集団への理解と支援のあり方 ～子どもの心を理解し適切な支援をするために～
	在校研究員	堅田 三佳【野市小】	コミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の外国語教育の連携
	特別支援教育支援員	森 由美	特別支援教育支援員
平成 24 年度 (2012 年度)	所 長	宮地 憲一	総括
	副 所 長	北川 倫代	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	就学前教育指導監	田村 敬子	保育所及び幼稚園 指導・支援

	研 究 員	三木 満喜【香我美中】	特別支援教育の視点を生かした個・集団への理解と支援の在り方 ～子どもの心を理解し適切な支援をするために～
	研 究 員	山 嵯 弥生【赤岡小】	保幼小中連携に関する研究 ～「連携カリキュラム」の実践を通して～
	在校研究員	堅田 三佳【野市小】	コミュニケーション能力を高めるための小学校と中学校の外国語教育の連携
平成 25 年度 (2013 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	濱崎 郁代【香我美小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について ～児童の心を理解し適切な支援方法を探る～
	研 究 員	山 嵯 弥生【赤岡小】	保幼小中連携の在り方に関する研究
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 26 年度 (2014 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	濱崎 郁代【香我美小】	特別な教育的ニーズを持つ児童の支援について ～学習に向かうことができる体づくりを通して～
	研 究 員	大久保裕史【岸本小】	保幼小中と家庭・地域が連携した道徳教育の推進
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 27 年度 (2015 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	三木 満喜	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	山岡 誠【吉川小】	温かい人間関係を育む学級づくりを通して不登校を未然に防ぐ
	研 究 員	大久保裕史【岸本小】	保幼小中と家庭・地域が連携した道徳教育の推進
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 28 年度 (2016 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課指導主監
	研 究 員	宮村 知章【佐古小】	学校と家庭・地域が連携した効果的な学力向上の取組
	研 究 員	山岡 誠【吉川小】	温かい人間関係を育む学級づくりを通して 不登校を未然に防ぐ手立てのあり方に関する研究 ～不登校の未然防止や初期対応に関する研究を中心にして～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援

平成 29 年度 (2017 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	岡松 理恵【吉川小】	不登校を未然に防ぐ手立ての在り方に関する研究 ～特別支援教育の視点を取り入れた環境作りと連携の方法を探る～
	研 究 員	宮村 知章【佐古小】	保幼小中・家庭・地域連携（一貫）教育に関する効果的な学力向上の取組 ～家庭や地域と連携した教育の推進に向けて～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 30 年度 (2018 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	関田 昭博	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	上田 恭子【香我美小】	連携から学力を考える ～学ぶことを支えるための具体的な取組についての考察～
	研 究 員	岡松 理恵【吉川小】	不登校を未然に防ぐ手立ての在り方に関する研究 ～特別支援教育の視点を取り入れた環境作りと連携の方法を探る～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動支援
平成 31 年度 令和元年度 (2019 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研 究 員	濱田 久司【野市小】	不登校を未然に防ぐ手立てとあり方の研究 ～温かい人間関係を育む全員参加の授業づくり～
	研 究 員	上田 恭子【香我美小】	連携から学力を考える ～学ぶことを支えるための具体的な取組についての考察～
	生活・学習支援員	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	副読本作成 アドバイザー	中澤 牧生	小学校社会科副読本「香南のくらし」(第4版)作成
令和 2 年度 (2020 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研 究 員	藤戸 仁美【野市中】	保幼小中の連携から学力向上につなげる研究 ～つながりを深め、自分の思いや考えを発信できる授業づくり～
	研 究 員	濱田 久司【野市小】	不登校を未然に防ぐ手立てとあり方の研究 ～主体的に関わり合いのある全員参加の授業づくり～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	副読本作成 アドバイザー	中澤 牧生	小学校社会科副読本「香南のくらし」(第4版)作成
令和 3 年度 (2021 年度)	所 長	西岡 祝子	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監

	研 究 員	瀬尾 公輔【野市小】	不登校を防ぐ！人！台端末の活用の仕方の研究 ～子どもたち一人ひとりが活躍できる授業づくり～
	研 究 員	藤戸 仁美【野市中】	保幼小中の連携から学力向上につなげる研究 ～小学校での Small Talk を、中学校英語授業の言語活動につなげる授業づくり～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校 社会科副読本 等編集コーディネーター	竹村 栄夫	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート
令和4年度 (2022年度)	所 長	小松 泰樹	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課指導監
	研 究 員	瀬尾 公輔【野市小】	不登校を防ぐ！人！台端末の活用の仕方の研究 ～子どもたち一人ひとりが活躍できる授業づくり～
	研 究 員	松井 理絵【野市小】	保幼小接続の充実を目指して ～幼児期から児童期への学びをなめらかにつなぐ～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校 社会科副読本 等編集コーディネーター	難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート
令和5年度 (2023年度)	所 長	小松 泰樹	総括
	副 所 長	細川 健次	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	松井 理絵【野市小】	保幼小接続の充実を目指して ～幼児期から児童期への学びをなめらかにつなぐ～
	研 究 員	今井 悠介【野市東小】	課題予防的生徒指導への ICT の効果的な活用に関する研究 ～ タブレット端末を活用した認知能力向上に向けた支援を中心として ～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校 社会科副読本 等編集コーディネーター	難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート
令和6年度 (2024年度)	所 長	小松 泰樹	総括
	副 所 長	森 健太郎	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	今井 悠介【野市東小】	課題予防的生徒指導への ICT の効果的な活用に関する研究 ～ タブレット端末を活用した認知能力向上に向けた支援を中心として ～
	研 究 員	中西 美和【赤岡小】	ポジティブ行動支援における問題行動へのアプローチに関する研究 ～ 子どもと先生の笑顔が咲きほこる学校にしていけるために ～
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校 社会科副読本 等編集コーディネーター	難波 成行	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート

令和7年度 (2025年度)	所 長	小松 泰樹	総括
	副 所 長	森 健太郎	香南市教育委員会学校教育課教育企画監
	研 究 員	中西 美和【赤岡小】	課ポジティブ行動支援における問題行動へのアプローチに関する研究 ～ 子どもと先生の笑顔が咲きほこる学校にしていきたいために
	研 究 員	細川 寛史【野市中】	
	教育推進アドバイザー	鈴木加代子	小学校外国語活動・外国語並びに中学校英語の支援
	香南市小学校 社会科副読本 等編集コーディネーター	井 上 朗	小学校社会科副読本「香南のくらし」等の編集に関するコーディネート



香南市教育研究所

〒781-5292 香南市野市町西野 2706 番地

電話番号:0887-50-3023

FAX 番号:0887-50-3020

E-mail:kyouiku-kenkyu@city.kochi-konan.lg.jp

U R L:https://x.gd/McJdO